

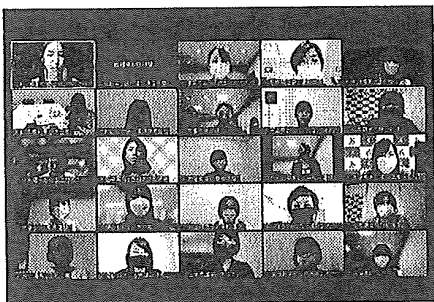
女性技術者が交流

建設コンサルタント協会九州支部

キャリア形成
育児と仕事

両立など課題

建設コンサルタント協会九州支部の女性技術者委員会（釜瀬明日香委員長）は8日、ウェブによる第5回女性技術者交流会を開いた。写真。「私のワークライフバランスを越える」をテーマに、キャリア形成や育児と仕事の両立などの課題と解決策について意見を交わした。



冒頭、釜瀬委員長は「きょうはさまざまな年代の人たちが集まった。交流会で経験を共有し、壁を乗り越えるための勇気やモチベーション、気付きを持ち帰ってほしい」とあいさつした。

2部構成となり、第1部では九州地方整備局で初めて女性所長になった柄沢祐子遠賀川河川事務所所長が「ワークライフバランス 管理職までの道のり」をテーマに基調講演した。柄沢所長は、仕事と育児の両立で苦労した点を説明し、「自身のやりたいことや中期的・長期的なキャリアの道筋、働き方の制約を整理するとともに、与えられた仕事を頑張ることが仕事と育児の両立につながる」と語った。第2部の意見交換では、仕

事上の壁について、「多忙で体力と気力が低下する」「同じような仕事が続いてモチベーションが低下する」「上司と合わない」といった意見が挙がった。これに対し、1人で抱え込まずに他の部署の先輩に相談したり、「目標や道筋を設定する」「定期的に自身に褒美を与える」などの提案があった。

一方、プライベートでは、「幼い子どもがいるときは仕事をすることの罪悪感がある」「家庭も仕事も中途半端に感じる」といった仕事との両立に悩む意見が目立った。このほか、在宅勤務のオン・オフの切り替えについて、「いつでも仕事ができる環境のため、常に仕事で気になっ
て気持ちの切り替えが難しい」とした。その解決策として、「就業後に外に出て買い物をする」「仕事部屋と日常の部屋を分けるために家を引っ越した」といった意見があった。